

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： ヨード密度とグルコース代謝を指標とした食道癌に対する放射線感受性の予測に関する研究

研究の目的

食道癌の化学放射線治療の効果を予測することは、治療方針の決定に重要ですが、いまだに確立された指標はありません。一方、悪性腫瘍の種類によってはデュアルエネルギーCT や FDG-PET/CT から得られたデータと治療効果に関連が見られるとの報告もあります。この研究は化学放射線治療を受けた食道癌患者さんの、デュアルエネルギーCT で得られたデータと FDG-PET/CT から得られたデータを組み合わせて、治療効果との関連性を明らかにします。

研究実施期間： 実施許可日～2025年12月31日

対象となる方： 2018年3月から2020年2月までに弘前大学医学部附属病院で食道癌へ化学放射線治療を施行された症例の内、治療開始前にデュアルエネルギーCT と FDG-PET/CT の両検査を受け、さらに治療後少なくとも1度は当院もしくは地域関連病院にて内視鏡検査における治療効果評価が行われた患者様18名。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

治療後に当院もしくは地域関連病院にて画像および内視鏡検査で治療効果判定された18例の患者様について診療録より局所制御率について情報収集し、また、治療開始前に撮影されたデュアルエネルギーCT、FDG-PET/CT 検査から収集されたデータと組み合わせて統計解析をします。具体的には治療前のデュアルエネルギーCT のCT 値、水密度、ヨード密度、FDG-PET/CT における SUVmax (悪性腫瘍に集積する FDG 値で最も高い値) について、治療後の食道病変局所の状態で群間比較をし、治療効果に寄与する因子を明らかにしたいと思っております。なお、地域関連病院からの情報は本研究に関わらず、当院に集約されている情報です。

本研究は「ヘルシンキ宣言」(2013年10月修正版) および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(2014年12月22日制定、2023年3月27日に一部改正) に従って行います。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 放射線治療科 藤岡一太郎 電話：0172-39-5103、FAX：0172-33-5627
-------	--